算式

（A－B）×0.6＋（B－C）×0.9

（A－B）又は（B－C）が自然数となるときはそれぞれ0とし、CがA又はBのいずれよりも小さいときは（A－B）及び（B－C）は0とし、CがAよりも小さいときは（A－B）又は（B－C）とし、（A－B）×0.6及び（B－C）×0.9に小数点以下の端数があるときは、その端数を四捨五入する。